100億宣言 株式会社丸正高木商店（総合食品卸売業）

タカギ 総合卸 菓子・食品・日用品

タカギ卸三条店

○本社所在地：京都府京都市中京区壬生神明町1-8

○事業概要：菓子・食品・飲料・酒類・日用品の総合卸売業（現金問屋・店舗「卸売ひろばタカギ」・農産物直売所・海外事業サポート・観光D2C「昭和レトロ横丁」を運営）

○常時使用する従業員：147名（2026年1月時点）

○現在の売上高：63.5億円（ 2026年1月期）

○法人番号：8130001022667

○Web：https://www.takagi-064.com/company

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役
高木　良典

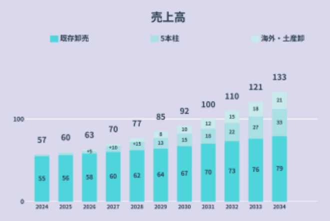
「信用第一」を礎に、卸売×現金問屋を強みに、京都から次の100年へ挑戦する総合食品流通企業へ

株式会社丸正髙木商店は、京都で96年「信用第一」を通じ、地域の小売店へ菓子・食品・飲料を届けてまいりました。
今、創業100周年(2029年)を見据え、京都の食文化を始め、多種多様な商品を多角的な販路へ京都を始め全国・世界へ届ける総合食品流通企業へ新化、進化、深化します。
160名のスタッフと約500社のお取引先様と共に、現状の売上63億円から100億円、更にはその先へと歩んでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年の売上100億円達成に向け、既存の卸売事業(信用第一×約500社の顧客、仕入先を基盤)を確実に成長させると共に、5本柱(店舗事業・産直ひろば・昭和レトロ横丁・外販卸・特販卸・お土産卸・諸官庁・BtoB企業・海外メーカー共創）による高成長を組み合わせ、年率8%程度の成長を目指す。



課題

●既存のお取引先様(500社)との関係、新化・進化・深化による取引額拡大と新規顧客の獲得を両立する営業体制の整備
●受発注・物流・顧客管理を一体化した卸売DX（モバイル／EDI／データ連携）の段階導入
●海外(香港・台湾・シンガポール・米国市場)における菓子・食品・飲料・酒類・日用雑貨の要望と新規開拓、物流網の構築、品質データ管理、多言語対応
●多種多様な商品と柔軟な発想でメーカー共創による情報力、商品力の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成（2031年）／最終目標110億円（2032年）に向けた具体的成長手段として、以下を推進する。
●菓子・食品・飲料・酒類・日用品の総合卸売網を進化、年率8%安定成長を維持。あわせて物流現場の省力化・省人化を行う。
●受発注・物流投資を積極的に・商品リスト管理・顧客管理を段階的にDX化し粗利率・回転率を改善。
●顧客ニーズに対応出来る多種多様な4.500種類の商品を実店舗をショールームとして見学（他社に無いタカギの強み）
●賃上げとM&Aを両輪で推進。食品総合卸売業の長年のキャリア実績でスピード機能を活かし事業継承・集約を構想テーマとしてとらえる。

実施体制

当社は代表取締役社長直轄の4本部体制により売上高100億円達成を推進する。
●営業本部は既存取引先（約500社）深耕・新規帳合開拓・海外市場および大手企業向け特販の3チームで構成。
●物流DX本部は受発注・物流・顧客管理の段階的刷新により粗利率・回転率を改善。
●商品本部はメーカー共創による商品開発と菓子・食品・飲料卸売業界の集約・承継需要への対応を担う。
●管理本部は財務・人事・法務・情シスの4機能で地場企業への熱中症対策提案・地域イベント商品提案・官公庁提案事業の3強化テーマを横断支援する。
賃上げ・女性管理職30%推進・M&A専門人材の計画的確保と整合させながら、売上推移に応じて段階的に増員する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです